



# みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉 私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより 令和4年6月23日 第8号 みなみ学園義務教育学校

## 6/10 (金) 応援をありがとうございました～みなみスポーツフェスティバル～



「雨が降ってもスポフェスをしたい。」「水たまりがあっても大丈夫。」とやる気満々だった子どもたち。天候不順のため、順延続きになってしまいましたが、「きっとできる。」とじっと待ちました。開会式で私は、「皆さんは辛抱強くて、思いやりがあって100点です！準備運動をして、今日は思いっきり走ってください！楽しんでください！」とエールをおくりました。



## 感動をありがとう！

このような学校行事を乗り越えることで、子どもたちの心がまとまり、仲間とともに頑張ることの喜びを味わえるようになります。その積み重ねにより、子どもたちは自己肯定感を高めていくのだと思います。競技終了後、クラスごとに記念写真を撮影していましたが、子どもたちの満足そうな笑顔が輝いていました。このみなみスポーツフェスティバルを通して、後期課程生は「下級生の演技の様子がかわいい、とてもがんばっている。もっと優しくしたい。」、前期課程生は「後期課程はカッコいい。あんなふうになりたい。」と、それぞれ思ったことでしょう。これが、みなみ学園の強みです。

後期課程生の競技中、何度か雨に降られました。そんな中、団旗を渡すりレーやみなみソーランなどで魅せる生徒の姿には、魂を揺さぶられました。すべての生徒に「本気」を感じました。全競技が終了し、片付けをしていると、みなみ学園の空に虹が・・・。「子どもたちにたくさん幸運が訪れますように！」と強く願いました。

## 6/16 (木) 6年生が「八木郷太さんと福祉について考える会」で学びました

6年生が、総合的な学習の時間に、福祉について学びました。講師の八木郷太さんは、柔道の練習中に頸椎脱臼のけがをしてしまい、現在、車いすで生活しています。笑顔が大変爽やかで、熱い語り口には惹き込まれます。八木さんは、「障害を持っている人に対して過度にやさしくするのはではなく、その人にとって障害となるものがある社会に、一人一人が気付くといいな。」という思いをしています。授業では、スライドを見ながら、「町にある何が障害になっているか。」などを、子どもたち一人一人がしっかり考えました。このあと、6/28 (火) に6年生は、市の社会福祉協議会の皆様の協力を得て、「アイマスク体験・車いす体験・シニア体験」を行い、福祉に関する学びを深めていきます。



今年は、校長室外側にある排気口のところに、ツバメが巣を作りました。せっせと巣作りしたり、親鳥がヒナ(4羽?)にエサをあげたりする様子を、子どもたちは、じっと立ち止まって観察しています。とても愛おしそうにヒナを眺める子どもたちの穏やかな表情を見ると、こういう「命を大切に思う経験」は大事なな、と改めて思います。ツバメの旅立ちの日まで、子どもたちと一緒に観察を続けていきます。さらに、今、1年生はアサガオ、2年生は野菜を育てています。毎朝水をあげたり、観察したりしていますが、まもなく花が咲いたり、おいしい野菜が実ったりすることでしょう。これも「命を大切に思う」経験。子どもたちの喜ぶ姿が目につかぶようです。



## 6/18 (土) 第1回環境整備活動が行われました～ご協力をありがとうございました～

保護者の皆様、学校運営協議会の皆様、みなみサポーターズの皆様と先生方による第1回環境整備活動が行われました。たくさんの刈り払い機の音が鳴り響く中、皆様の丁寧な作業により校庭や学校周辺が見違えるほどきれいになりました。暑い中、早朝よりご協力くださった皆様に、心から感謝申し上げます。今後は、新型コロナウイルスの対策を講じながら、少しずつ保護者や地域の皆様とともに活動する機会をつくっていったら、と思っています。



## 速報！おめでとう！中央地区大会出場へ

快挙です！6月20日・21日に行われた笠間市総合体育大会で、女子バスケットボール部と女子卓球部が6月末から行われる中央地区大会出場を決めました。ぎりぎりの部員数で臨んでいる本校ですが、「奇跡は起こすもの」と最後まであきらめずにプレイするみなみの生徒は、実に素晴らしい！それでは、中央地区大会に参加する皆さんを紹介します。

- 女子バスケットボール部 準優勝
  - 女子卓球部団体 第3位
  - 女子ダブルス 第3位 埴 梨音 森田 寧萌ペア
  - 女子シングルス 第5位 筒井 琴子
  - 女子シングルス第6位 根本 琉衣
  - 女子シングルス 第10位 藤岡 陽夏
- (文責：野尻)